

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【公表番号】特表2005-520498(P2005-520498A)

【公表日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-027

【出願番号】特願2003-552803(P2003-552803)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 P 37/02

C 0 7 K 14/705

C 0 7 K 16/28

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 21/02 C

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 Q 1/68 A

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

C 1 2 N 5/00 A

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 48/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月30日(2005.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

(a) 配列番号 1 または配列番号 3 の配列を含むポリヌクレオチドによりコード化される単離ポリペプチド、

(b) 配列番号 2 または配列番号 4 のポリペプチド配列と少なくとも 95 % の同一性を有するポリペプチド配列を含む単離ポリペプチド、

(c) 配列番号 2 または配列番号 4 のポリペプチド配列と少なくとも 95 % の同一性を有する単離ポリペプチド、および

(d) 配列番号 2 または配列番号 4 のポリペプチド配列、および

(e) (a) ~ (d) における上記ポリペプチドのフラグメントおよび変異型から成る群の一つから選択される単離ポリペプチド。

【請求項 2】

配列番号 2 または配列番号 4 のポリペプチド配列を含む、請求項 1 記載の単離ポリペプチド。

【請求項 3】

(a) 配列番号 1 または配列番号 3 のポリヌクレオチド配列と少なくとも 95 % の同一性を有するポリヌクレオチド配列を含む単離ポリヌクレオチド、

(b) 配列番号 1 または配列番号 3 のポリヌクレオチドと少なくとも 95 % の同一性を有する単離ポリヌクレオチド、

(c) 配列番号 2 または配列番号 4 のポリペプチド配列と少なくとも 95 % の同一性を有するポリペプチド配列をコードするポリヌクレオチド配列を含む単離ポリヌクレオチド、

(d) 配列番号 2 または配列番号 4 のポリペプチド配列と少なくとも 95 % の同一性を有するポリペプチド配列をコードするポリヌクレオチド配列を有する単離ポリヌクレオチド、

(e) 配列番号 1 または配列番号 3 の配列を有する標識プローブまたは少なくとも 15 ヌクレオチドを有するそのフラグメントでストリンジェントなハイブリダイゼーション条件下ライブラリーをスクリーニングすることにより得られる少なくとも 100 ヌクレオチドのヌクレオチド配列を伴う単離ポリヌクレオチド、

(f) (a) ~ (e) のポリヌクレオチドと均等な内容の RNA であるポリヌクレオチド、または上記単離ポリヌクレオチドと相補的なポリヌクレオチド配列および上記ポリヌクレオチドの変異型およびフラグメントであるかまたは上記ポリヌクレオチドとその全長にわたって相補的であるポリヌクレオチド

から成る群の一つから選択される単離ポリヌクレオチド。

【請求項 4】

(a) 配列番号 1 または配列番号 3 のポリヌクレオチドを含む単離ポリヌクレオチド、

(b) 配列番号 1 または配列番号 3 の単離ポリヌクレオチド、

(c) 配列番号 2 または配列番号 4 のポリペプチドをコードするポリヌクレオチド配列を含む単離ポリヌクレオチド、および

(d) 配列番号 2 または配列番号 4 のポリペプチドをコードする単離ポリヌクレオチドから成る群の一つから選択される、請求項 3 記載の単離ポリヌクレオチド。

【請求項 5】

発現ベクターが適合性のある宿主細胞に存在するときに請求項 1 記載のポリペプチドを生成し得るポリヌクレオチドを含む発現系。

【請求項 6】

請求項 1 記載のポリペプチドを発現する、請求項 5 記載の発現ベクターを含む組換え宿主細胞またはその膜。

【請求項 7】

ポリペプチドの製造に十分な条件下で請求項 6 記載の宿主細胞を培養し、培養培地からポリペプチドを採取する工程を含む、請求項 1 記載のポリペプチドの製造方法。

【請求項 8】

免疫グロブリン F c - 領域および請求項 1 記載のいずれか一つのポリペプチドから成る融合タンパク質。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項記載のポリペプチドに免疫特異的な抗体。

【請求項 10】

請求項 1 記載のポリペプチドの機能またはレベルを刺激または阻害する化合物を同定するためのスクリーニング方法であって、

(a) 候補化合物に直接的または間接的に結合させた標識手段によりポリペプチド (またはポリペプチドを発現する細胞または膜) またはその融合タンパク質への候補化合物の結合を定量的または定性的に測定または検出する、

(b) 標識競争物質の存在下におけるポリペプチド (またはポリペプチドを発現する細胞または膜) またはその融合タンパク質への候補化合物の結合の競合を測定する、

(c) ポリペプチドを発現する細胞または細胞膜に適切な検出系を用いて、候補化合物がポリペプチドの活性化または阻害により発生されるシグナルを誘発するか否かを試験する、

(d) 請求項 1 記載のポリペプチドを含む溶液と候補化合物を混合して混合物を形成させ、混合物中におけるポリペプチドの活性を測定し、候補化合物を全く含まない対照混合物と上記混合物の活性を比較するか、または

(e) 例えば E L I S A 検定法を用いて、細胞におけるポリペプチドをコードする m R N A またはポリペプチドの生成に対する候補化合物の効果を検出する、そして

(f) 生物工学的または化学的標準技術にしたがって上記化合物を製造することから成る群から選択される方法。

【請求項 11】

配列番号 2 または配列番号 4 のポリペプチドの発現または活性に関連した病気または病気に対する感受性の診断方法であって、

(a) 対象のゲノムにおいてポリペプチドをコードするヌクレオチド配列における突然変異の存在または不存在を測定し、および / または

(b) 対象から誘導された試料におけるポリペプチド発現の存在または量について分析する

ことを含む方法。